

レベル：初級
領域：「領域共通」

平成 30 年度

一般社団法人 日本臨床心理士会臨床心理講座

小児がんの患者と家族への心理職としての緩和ケアとは —小児がんの心理臨床②—

講座の内容：2013年に小児がんの拠点病院が厚労省で、15施設が選ばれている。それに先駆けて申請のあった病院は37施設にのぼる。各病院では心理的ケアが求められており、この領域で働く臨床心理士も全国に増えつつある。小児がんにおける治療は、年々めざましく進歩しており、寛解には入った子どもたちの多くが、幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校など社会に戻っていく時代を迎えている。

一方で治療中に感染で亡くなる子供、再発を繰り返すうちに手だてがなくなりターミナル期をむかえる子供たちもいる。

本講座では、小児科病棟で、命の終わりを迎えていく小児がんの子どもたちへの心理的ケア（緩和ケア）として、心理職は、何ができるのか、どう多職種と連携ができるのか、その際に心理士としての自分の気持ちとどう向き合っていくのか、考えることをテーマとして実施したいと考えている。

はじめに東京都立小児総合医療センターの緩和ケア看護師瀬戸真由里先生に、小児がん患者と家族の緩和ケア実際について、また現場の心理士にのぞむこと等講義いただく。午後には、乳幼児・学童期・AYA世代における小児がん患者と家族の緩和ケアの実際について、研修に参加された方とともに、グループディスカッションを実施する予定である。

講師：瀬戸 真由里（東京都立小児総合医療センター緩和ケア看護師）
工藤 宏子（文教大学大学院人間科学研究科 講師）
小松 愛祈（東京都立小児総合医療センター心理・福祉科）

日時：平成31年1月27日（日）10：30～16：30

場所：文京区本郷2-27-8 ユニゾ本郷二丁目ビル2階 当会会議室

<http://www.jsccp.jp/center/access.php>

参加資格：臨床心理士・大学院生 定員50名

参加費：社）日本臨床心理士会 会員 5,000円
臨床心理士 非会員 8,000円
大学院生（臨床心理士資格未取得に限る） 3,000円

ポイント：2

申し込み方法：（社）日本臨床心理士会 WEB ページよりお申し込みください。

<受付手順> WEB 申込で送信してください。



受付けた旨をメールで返信します。

<手順の説明>



受講料のご入金



「受講票」を送信します。